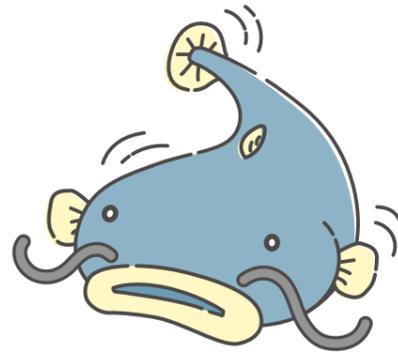


地域危険度とは

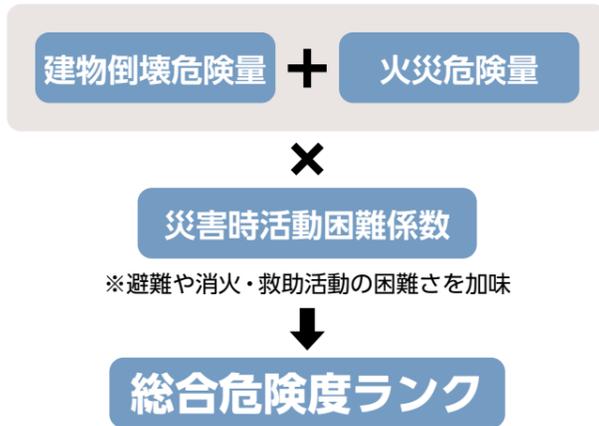
東京都は、東京都震災対策条例に基づき、おおむね5年毎に、地震に関する地域の危険性を地域危険度として測定し、その結果を公表しています。

地域危険度測定調査では、都内の市街化区域を対象に、以下の危険性について町丁目ごとに測定し、5段階の相対評価としています。

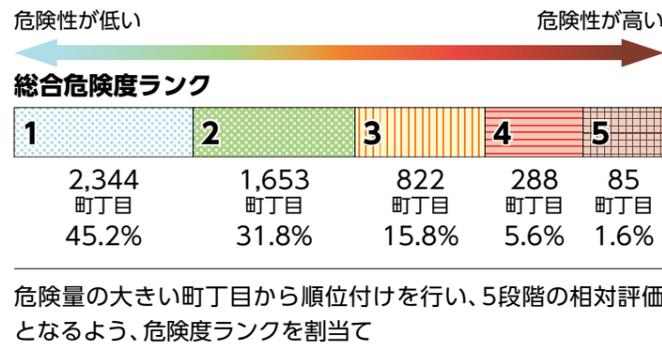


- 建物倒壊危険度
- 火災危険度
- 総合危険度

総合危険度の測定方法

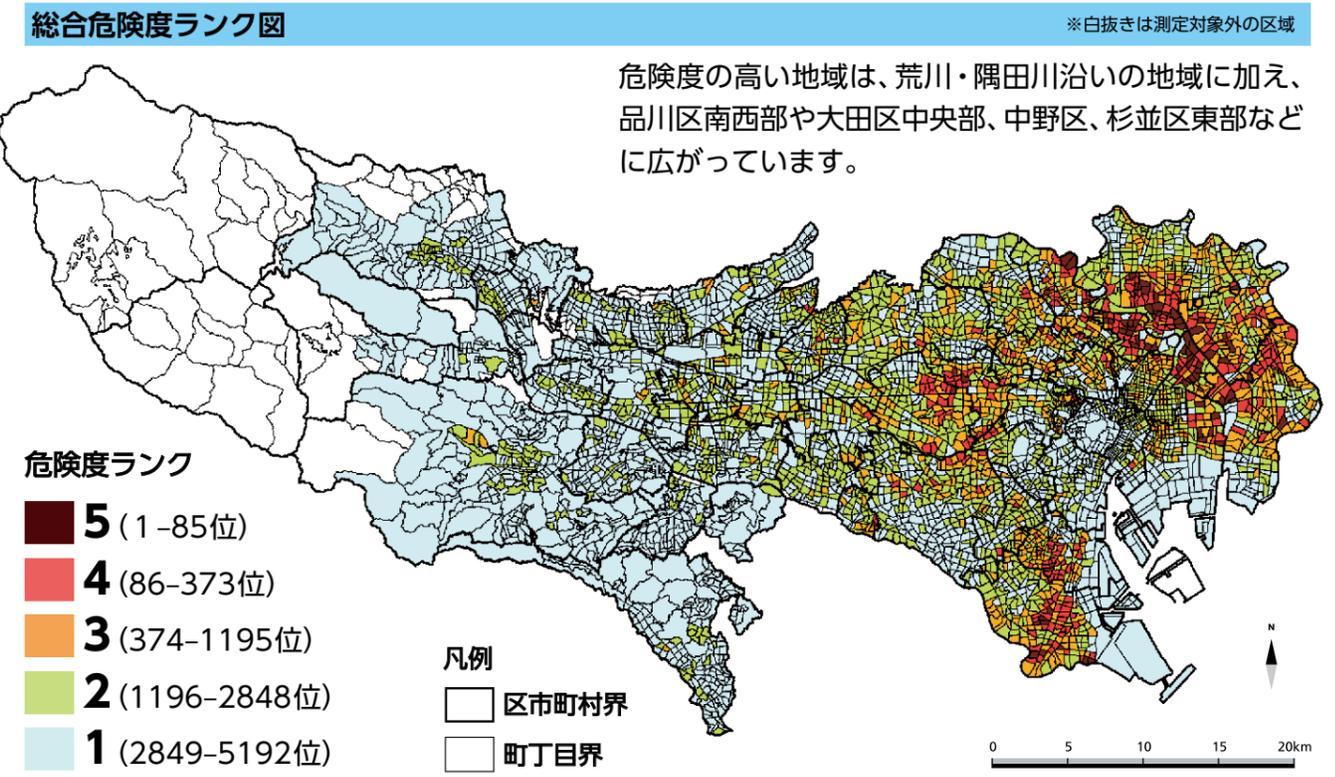


危険度ランクの町丁目数と構成比率



総合危険度

建物倒壊や火災の危険性に、災害時活動の困難さを加味して、総合化したものが「総合危険度」です。



建物倒壊危険度

地震の揺れによって建物が壊れたり傾いたりする危険性の度合いを測定したものが「建物倒壊危険度」です。

地盤特性、建物量、建物特性を基に測定しています。



火災危険度

地震の揺れで発生した火災の延焼による危険性の度合いを測定したものが「火災危険度」です。出火の危険性、延焼の危険性を基に測定しています。

